

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 片江

目標達成計画書

作成日: 令和 元 年 9 月 21 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	グループホームの理念を見やすい場所に掲示しているが、職員一人ひとりが理念を理解して、実践に繋げる体制が出来ていないので、理念について話し合い、確認する機会を設けていく。	朝の申し送り時に、週に1回は理念を唱和し、毎月の職員会議の中で、理念の意義や目的を改めて振り返り、職員が心を一つにして、常に理念を意識した介護サービスに取り組んでいく。	12ヶ月
2	51	日常的な外出支援	職員不足のため、日常的な利用者の外出支援が困難になっているので、利用者の気分転換に繋がる外出の支援に取り組んでいく。	担当制にして外出レクを企画し、家族やボランティアの協力を得る等、人員配置を工夫して外出する機会を増やし、利用者の生きがいに繋げていく。	12ヶ月
3					ヶ月
					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。